

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-90

学校名・団体名	北広島町立豊平中学校
HPアドレス	http://www.khiro.jp/toyohira-jh/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	そばの里豊平 手打ちそばの習得と継承
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>ふるさと豊平の伝統文化の一つである「手打ちそば」に生徒が実際に関わることで、「手打ちそば」の魅力や奥深さをより強く感じとることができ、ふるさと豊平への愛着と誇りをさらに膨らませる。また、同じ中学校の仲間が「手打ちそば」に関わっていることで、他の生徒も「手打ちそば」を身近に感じることができ、その関心が高まる。これらによって、本校独自の「ふるさと学習」の推進を図る。さらに、中学生が「手打ちそば」を行うことで、地元地域の元気アップ・活性化に貢献する。</p>	

【活動内容】

豊平手打ちそば保存会の方のご支援を受け、「豊平中学校そば打ちクラブ」は、平成26年10月から活動を始めました。今年度に入り、新2・3年生は4月初めから活動をはじめました。そして、入学してきた1年生からも部員が入り、6月から総部員数19名で活動を行うこととなりました。毎月隔週で2回の活動を行っています。保存会の方の指導を受けながら、2・3年生は一人一鉢でそばを打ちます。1年生は最初2~3人で一鉢のそばを打ち始め、全体の工程が理解できたところから一人一鉢でそばを打ちます。1時間半程度の活動で、そば打ち道具のセット、粉ふるい、水回し、こね、伸ばし、切り、そして、道具の片付けまで一人ひとりが行います。保存会の方も生徒一人ひとりが自分で考えながら打っていくことを大切にされ、じっと見守りながらここというときは具体的な指導を入れてくださいます。こういった練習をしながら、11月に開催される、西日本最大のそばイベントといわれる「豊平そば祭り」初出店を目標に、手打ちそばの腕前を上げていきました。また、豊平では、道の駅「とよひらどんぐり村」で、四季ごとに「食のろまん紀行」として「春・夏・秋・冬の陣」が開催されています。「豊平中学校そば打ちクラブ」は、7月26日に開催された「夏の陣」からお手伝いとして参加を始め、10月18日に行われた「秋の陣」にもお手伝いを行いました。直接お客様とのやり取りの仕方や、「ゆで」「盛り付け」の方法についても身につけていきました。



【そば打ちの練習をする部員】

そして、11月14・15日いよいよ「豊平そば祭り」の日を迎えました。保存会の方のこれまたご支援により、「豊平中学校そば打ちクラブ」として、お店を出店させていただくこととなりました。「豊平中学校そば打ちクラブ」としてお店を出すからには、そば打ちはもちろん、盛り付けや接客も全て生徒たちで行っていきます。保存会の方は1名だけついでいただき、危険性の高い初めのゆでだけを手伝っていただきます。当日部員達は、朝7時に「そば道場」に集合し、2・3年生がそばを打ち始めました。



【そば祭りではそば打ちを実演】

初日はあいにくの雨模様でしたが、10時の开店前にはすでにお客様においでいただき、先ずは部員たちの顔に、安堵の笑みがこぼれました。そして、お客様も次々においでいただき、部員たちの手つきもだんだんと慣れてきました。初日は、13時ごろに完売をすることができました。2日目は日曜日で天気も良くなりたくさんのお客様が会場に来られ、そば打ちクラブのお店にも列を作って並んでくださいました。もちろん途中で、店舗であるテントの中



【そば祭りを終えて】

中でもそば打ちの実演をしながら追加の麺を打っていきます。黙々とそばを打つ部員、その姿を食い入るように見ておられたお客様、「上手に打ちよるのー」とお褒めの言葉もいただきました。初日同様13時過ぎには完売をめでたくすることができました。2日間での目標売り上げ数200杯は、初日だけではるかに超え2日目を終えた時点では、部員全員が大きな達成感と自分自身への自信がしっかりと持てたようです。年が明け、2月7日の行われた「冬の陣」では、保存会の方がお店を出店されましたが、「そば祭り」の経験を生かし、中学生が麺打ちやお客様対応等を中心になって行いました。この日も大盛況であったという間の完売でした。

【成果と今後の活動に向けて】

このクラブは、そば打ち保存会の方や保護者の方のご支援・ご指導とご協力を全面的にいただきながら活動を行ってきました。今年度で活動も2年目になり、部員の最大の目標であった「豊平そば祭り」への初出店は、そういった皆様方のお力と、地元の方々の温かいご理解を得て実現することができました。部員たちは目標が叶えられるという喜びもありましたが、本当に自分達の力だけでできるのだろうかという不安もありました。しかし、ご来店いただいた皆様方

の温かいお言葉や、部員同士の協力、さらに実践で力を伸ばしていったことで、目標数を大きく超えることができました。2日間を通して、そば打ちの技術の向上があったことはもちろんですが、大きな達成感や自分自身への自信を得ることが、今後の活動にしっかりとつながっていくと考えています。

また、おいでいただいた方から、次のようなメッセージをメールでいただきました。

そば祭り当日は、さんさん市でボランティアとしてお手伝いをしていました。その接客中、多数のお客さんから「そば打ちクラブ」への声援の声がありました。2・3紹介します。

- ・そば打ちクラブのそばを食べましたよ。大変おいしくいただきました。また食べたいですよ。
- ・地域の行事に（中学生が）参加されて感心しました。是非、他の地域の行事にも来て欲しいですよ。そばは大変おいしかったですよ。

さらに、町の教育委員会へも10数件の激励や感動のお電話をいただいたと聞いています。

これらのことから、「豊平中そば打ちクラブ」の活動が、ここ豊平の未来を担う担い手としての力を蓄えること、豊平の文化を受け継ぐことだけでなく、豊平地域の方々へ少しでも元気を与え、地域活性化へ貢献する取組になっているのではないかと喜んでいきます。ここ豊平にいないてはならない人材が少しずつ育っているのではないかと考えています。

今部員たちは、3月13日に開催される「豊平流そば打ち段位認定試験」を目標にそば打ちの練習に取り組んでいます。初段の認定を持っている生徒は2段を目標に、その他の生徒は初段を目標に頑張っています。



【「冬の陣」を手伝う部員】